2010年度自己占格•誣価報告書 執筆就象部局一覧

	2010年度自己	点	<u>负·</u>	評	個	華	建	: 1	ŧ	執	<u>筆</u>	対	<u>象</u>	部)	<u>局·</u>	<u>-</u> !	覧																											入試関す	・社会	き連携 頁を含	にむ						
			学部																								門職ス		È	その他																							
	対象部局名		Ż			教育	育	経済	备 注	去	経営		国政	経国際	総 文			理工			社情		文		4	教育		斉 公共	ž	.	経営	Ξ		国際	総文	理工	情	国内	国祭マ		計プロフ	青	1	キリスト教教育・					<u>与</u>	学生製	生		
執筆項目NO	執筆項目	*	フランス文学	本	史学	教育学	理	経	現代経済デザイン学	去学	1	テティン国際政	祭 際	コミュニケーシ	文化	理・	· 结 生 1	電子工工	幾点	情報テクノロジー 学	社会情報	英米	ンス文学	日本文学・日本語専史学専	教育学専	理学	経	・地域マネジメント		ビジネス法務専	経営		国際経	いコミュニケー ション東ス化倉造マオシッント車	と削 総った	※ 理	社会情	国際マネジメンジントサイコン	ジメントナイエ	計 プ	ェッショナル会	山スタンダード	営に庶	宗教	図書館【図書部		日 学 研究 さ	外国語ラボラトコ	学生関係【学	「生各・尤銭2ノター	係【学生相談	大学執行	事務局事務局
1	教育目標等の具体的な表現	科	科	科	科	科	科	科	A 和 和	斗	科科	1 科	科	科	科	Ā O	科 1	科利	科表	1 科	科	攻	攻	攻 攻	攻攻	攻	攻	攻	攻耳	女 攻	攻	攻 O	攻	攻 3	文 文 文	攻	攻	攻耳	文 文 O	Î	Ŷ	構金	4		□	所	ĺ	í		<u> </u>	<u>-</u>	部長	列 女
2	による明示 「受入れ方針=アドミッション・ ポリシー」に基づく入学試験の	H	_	7		1		7							Н		0 0					Н					H									0	Н								1			Н			Н	+	
3	実施・運用 「学位授与の方針=ディプロマ・ポリシー」に基づく学位授			+		+	+	+		+					Н		0 0		+			Н		÷			Н		+		+	Н		+		0	Н					+			-						Н		
4	与と質保証 学位授与基準や審査基準の 具体的表現による明文化と公														H	Ť						Н		* *		*	Н				*	Н					H	0 0	0 0	0	0	+						Н			Н		+
5	表 「教育課程編成・実施の方針 =カリキュラム・ポリシー」に基	O	0	0	0	0	0	0	0 0	2 0	2 0) *	k *	*	0	0	0 0		0 0		0	Н					0					Н										0			-						Н	+	+
6	づく具体的なカリキュラム構成 適切な履修指導の実施	Н		\dashv		+		+		+					Н		* 7				0	Н		ł			Н					Н	+	ł	+		Н					-						Н			H		+
7	入学前・入学時における入学	Н		+		+		+		+					Н		0 0					Ĭ			ľ		Ĭ			-					+		Ĭ				J		2					Н			Н		+
8	生に対する教育への配慮 初年次教育の方針や取り組み	Н		+		+		+	0 0	+					Н		0 0		+																		Н					0 0									Н		+
9	内容 授与する単位の実質化への	Н		+		-		-							Н		* 7			k *				+			Н										Н				H	0			+			Н			Н		+
10	授業評価アンケート結果の組	Н		-		*		+				* *			Н		^ / * 7			\		0	0	2 0			0	0	0 0			0	0	0 0		0	0		0 0	0		0,						Н			Н		+
11	織的な活用 義務化されているFD活動への			+		+		+									0 0		+			Н		* *			*) *	Н					Н					0 7			1			Н			Н		+
12	具体的な取り組み シラバスの掲載内容の充実	Н		+		-		-		+					Н		* 7					Н		+			H					Н		+			Н					-						Н			Н		
13	教員の教育業績に対する取り	Н		+		4	+	4		+		+			Н		0 0		+			Ĥ	_		Ĥ	Î	Ŷ	^	^								Н			Н		<u> </u>			+			Н		-	Н	+	
14	成績評価基準の厳格化・統一	Н	\dashv	+	+	+	+	+		+	+	٠			Н		0 0		+	+	┝	0	0	2 0		0	0	0	0 0	2 0	0.0	0	0	0 0		0	Н		+	Н	H	0						Н			Н		
15	11と 学生個人ごとの学習履歴や学 習成果の把握	Н		-		-		-							Н		0 0					Н																							+			Н			Н		+
16	学科・専攻の目指す国際化と	H		+		+	+	+	* 7	ł		* *					* 7			+	0	Н	*	* *	*	*	*	*	* 1	k *	*	*	*	* () *	0	0 0	0 0	0	0	+			1		*	Н			Н		+
17	取り組みの現状 入学定員数の管理	Н		+		+	-	+		+		+			Н		0 0		+	+		^					î															+					n				Н		+
	収容定員数の管理	Н		+	+	\dashv	+	\dashv		+					Н		0 0		+			Н		ł													Н					+						Н			Н		
	収容定員数の管理							$\hat{\parallel}$					Ĥ	Ĥ	H			1				0	0				0	0	.		. 0	0	0			0	0		0 0	0	0	+			-			Н			Н		+
20	経済困窮者などのための支援			+		+		+		+		+	H	H	Н	H	+	+				Ŭ							^												Ŭ	+			-			Н	0		Н		+
	キャリア教育の充実		0				0									0	0 0		2																		Н					0))	Н		+
22	教員組織や教員の教育・研究	Н		1	-	+	-	+		ł				\mathbf{H}	Н	H	* 7		+			Н		+	H		Н	+	ł	H	H		+	+			Н		0 0						+	H		Н			Н	+	+
	活動などの適切性 専任教員1人あたりの学生数	Н		+	÷	+	+	+		+				Н	Н		0 0		+	+	┝																Н				J										Н		
		Н	-	+	H	-	+	-	+	ł	H	÷	H	Н	Н		0 0	+	+	H	H			0.0			_						0								0	+			-			Н			Н	+	+
	自己点検・評価活動の実態 職員の能力開発(スタッフ・														Н			+				U														, 0					U	+			-			Н			Н	+	+
25	ディベロップメント=SD) 学生相談センターの人員・ス			+		-		-		+		+	H	H	H	H	\perp	+	-										-				H				Н					+									Н		0
26	ペース確保への対応 図書館閲覧室の座席数不足			-		-		-		+			H		Н	H	\dashv	+																											_						Н	*	
27 見在	等への対応 運営上感じている重要な問題	٨	٨		٨	_	<u> </u>						+		H	À	+	+			<u> </u>	٨	_				٨	<u> </u>	A .			,	٨	<u> </u>		٨	٨		A A		٨				0				1		H	1	+
	女善点		△フラ						現代	去 糸	径	2 国	国 国 国	国	総	物	化 1	電力	△ ∠ 幾 煮	圣情	社会	英	フ	日史	2 教	心	経	公	私(ム Z よ ジ	経	国	国	国一文	て 総	理	社		国法	会計	プ	△ ∠ 青 ≦	大	+ !		総情	国	外	学	学 学	学	大 事	事
		文学	ッンス文学科 	文学	科	『学科	学科	学 科	経済デザイン学科	144 年	学科・ファインク学	アテインブ学科	際投資学科	짜コミュニケーション学科		・数理学科	字•生命科学科	電子工学科	(創造工学科)	サテクノロジー 学科	情報学科	文学専攻	ンス文学・語学	本文学・日本語専攻	学専	学専	学専攻	地		事 ネ 女 ス	学専攻	政治学	済学専攻	ニケー	削造マネジメント厚文化政策学専攻	専攻※	報学専攻	ジメン	すれジメントナイエン	プロフェッション専攻	フェッショ	山スタンダード教育機構 キーしきょう	運営	ト教教育・活動【	館【図書部】	3 1	流センタ	ラボラトリ	関係【学生部】	ューン	関係【学生相談セ	執行部	務局長

※ 理工学専攻は、原則としてコース単位(基礎科学、化学、機能物質創成、生命科学、電気電子工学、機械創造、知能情報、マネジメントテクノロジー)で記述する。

[記号の意味] ★:執筆必須項目かつ大学基準協会から勧告・助言を受け、改善状況について提出を求められている項目

〇:執筆必須項目

^{■:}現在運営上感じている重要な問題点・改善点を、1件以上執筆する部局

^{△:}現在運営上感じている重要な問題点・改善点を、任意で執筆する部局